

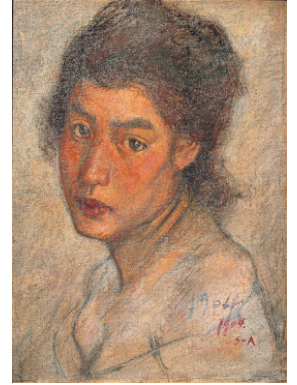
展覧会情報

芝川照吉コレクション展 青木繁・岸田劉生らを支えたコレクター

The Shibakawa Collection Tribute to a Patron of Aoki Shigeru, Kishida Ryusei and others

2013年5月18(土) — 6月30日(日)

当館は昨年、「幻のコレクション」として近代美術史上高い評価を得てきた芝川照吉(1871-1923)が旧蔵し、現存するコレクションを収蔵しました。本コレクションには、青木繁の代表作《女の顔》をはじめ、岸田劉生の《門と草と道路》や《芝川照吉像》、さらには坂本繁二郎、石井柏亭らの洋画作品とともに、富本憲吉、河合卯之助、藤井達吉らの工芸作品も数多く含まれています。本展覧会では、後には手放された岸田劉生の《道路と土手と堀(切通之写生)》(重要文化財、東京国立近代美術館蔵)や青木繁の《享楽》(大原美術館蔵)など「芝川コレクション」の核となっていた貴重な作品も加えて、200余点でその全貌に迫ります。



青木繁《女の顔》1904年

関連イベント

講演会：「芝川照吉と藤井達吉」

木本文平氏(碧南市藤井達吉現代美術館館長)

日時：2013年6月1日(土) 午後2時～3時30分

講演会：「芝川照吉をめぐる洋画家たち」

瀬尾典昭氏(渋谷区立松濤美術館学芸係長)

日時：2013年6月22日(土) 午後2時～3時30分

会場：京都国立近代美術館1階講堂

定員：100名

※聴講無料、当日午前11時から受付にて整理券配布

芝川照吉コレクション展 友の会特別解説会

日時：2013年6月14日(金)

午後6時30分～7時30分

集合場所：当館1階ロビー

集合時間：午後6時25分

募集人数：先着15名

解説者：平井章一(当館主任研究員)

申し込み先：京都国立近代美術館 事業係

電話：075-761-4115

(月曜から金曜まで午前10時～午後5時)

※お申込の際は、お名前・会員番号をお伝えください。

夜間開館のお知らせ

当館は4月から10月までの間、企画展開催中の**毎週金曜日**に夜間開館を行っております。通常は午後5時で閉館ですが、この期間の金曜日は午後8時まで開館しております。(但し、入館は午後7時30分まで)是非ご利用ください。

次回展覧会

でいしょう 泥象 鈴木治の世界

—「使う陶」から「観る陶」、そして「詠む陶」へ—

Suzuki Osamu: Image in Clay

2013年7月12(金) — 8月25日(日)

現代陶芸に大きな足跡を残した鈴木治(1926-2001)の展覧会。京都に生まれ、1947年に八木一夫らと陶芸家集団「走泥社」を結成、八木の亡き後は山田光とともに長く走泥社の中心的役割を果たしました。動物や自然のイメージから生み出された「かたち」を作品とする「泥象(でいしょう)」シリーズなど、その独自の世



鈴木治《馬》1978年

界は没後10年余りを経た今もお私たちを魅了し続けています。本展では鈴木治の代表作に加えて、最晩年の未発表作品も展示し、その作陶の全容を紹介します。

50周年記念展「交差する表現」友の会特別解説会

日時：2013年5月2日(木)

午後4時30分～6時

解説者：山野英嗣(当館客員研究員)

参加者数：4名



開館50周年記念特別展にて、友の会特別解説会を行いました。全館を使った展示のうち3階と1階「スターバー」のみの解説でしたが、参加者と会話しながらの1時間半はとても短く感じられました。友の会では展覧会毎に展覧会担当者による解説会を行っております。担当者に直接質問などができる良い機会ですので、まだ参加されたことのない方も、是非ご利用ください。

京都国立近代美術館 50 周年記念祝賀会

4 月 27 日土曜日、当館は開館 50 周年を迎え 1 階ロビーにて祝賀会を行いました。歴代職員をはじめ、作家、デザイナー、など、美術館を支えてきたたくさんの来賓客で 50 年を振り返りました。館長・尾崎正明の挨拶のあと、初代事業課長（現学芸課長）・乾由明氏による祝辞、元館長の内山武夫氏による乾杯の挨拶がありました。各々の時代にあった京近美での思い出などを話され、この 50 年間の美術館の変遷などを垣間見ることができました。



今回の祝賀会では、平成 23 年度に当館で新しく収蔵した代表作品を講堂で展示しました。国画創作協会の中心メンバーであった土田麦僊の《朝顔》もこの度収蔵されることになり、当館のコレクションになって初めてのお披露目となりました。その他に、芝川コレクションの目玉でもある青木繁の《女の顔》、ハンナ・ヘッヒの《花嫁》など、1 日限りのコレクション展はとても贅沢で豪華なものとなりました。



『京都国立近代美術館 50 年史』を発行



当館開館 50 周年を記念して、『京都国立近代美術館 50 年史』を発行しました。歴代館長・学芸課長による 50 年の振り返りをはじめ、1963 年から 2013 年までに開催した全ての展覧会の概容、可能な限り各展覧会のポスター、図録、会場の図版を掲載しました。各年度毎に一部新収蔵作品の紹介もしています。また、展覧会以外の活動として映画上映会や友の会、学習支援など様々な行事の全記録、美術館ニュース『見る』や研究論集『CROSS SECTIONS』など出版物の紹介もしています。

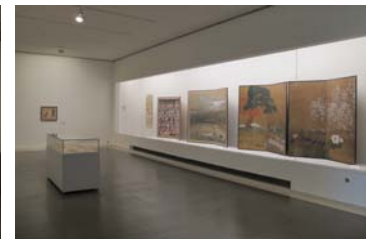
『京都国立近代美術館 50 年史』 220 x 304 mm / 480 ページ

平成 25 年度 第 1 回 コレクション・ギャラリー展 開催中！

5 月 11 日（土）～7 月 7 日（日）

今年度第 1 回コレクション・ギャラリー展は下記のテーマで全 228 点を展示しています。

- ・コレクションにみる西洋近代美術 I
— 具象表現の展開と抽象表現の誕生
- ・コレクションにみる西洋近代美術 II
— ダダ運動を中心に
- ・開館 50 周年記念 村上華岳特集
- ・野島康三の写真
- ・近代日本の工芸と染織
- ・河井寛次郎
- ・日本近代洋画の名品 I — 大正時代を中心に
- ・屋外彫刻



会場写真（左：コレクションにみる西洋近代美術Ⅱ、右：村上華岳特集）

今回のコレクション・ギャラリー展では、当館所蔵・マルセル・デュシャンのレディメイドの作品をまとめて展示しています。日本画は、開館 50 周年を記念して「村上華岳特集」をご用意しました。昨年度の新収蔵品であるハンナ・ヘッヒの《花嫁》、富本憲吉の《色絵金銀彩四弁花模様八角飾篭》も展示中です。友の会会員の皆様はコレクション・ギャラリーを無料でご観覧いただけますので是非ご利用ください。なお、展示目録は当館ホームページでご確認いただけます。